

## 特定非営利活動法人 富士山ランドパーク 設立趣旨書

### 1 趣 旨

富士宮市では、近年人口減少に歯止めがかからぬ状況が続いており、中心市街地にある商店街はシャッター街と化し、寂れた印象が強くなっています。一方で富士宮市には富士山の伏流水が流れ出る豊かな自然や美しい景観、優れた観光資源などが数多くあり、まちとしての潜在的な価値は非常に高いと考えています。若者は進学、就職を期に市外へ転居する傾向が強く、彼らがまちへ戻ってきたいと思えるような魅力あるまちづくりが必要であるとの考えから、富士宮市民及び専門家が協力し合い課題を解決する組織として、富士山ランドパークは立ち上がりました。

富士山ランドパークは、

- ① 少子高齢化にともない増加する空き家、空き地を有効活用し、富士宮市に居住を希望する方が安心して暮らせる住環境を提供する
- ② 中心市街地でのイベントや空き店舗の活用を通じて、にぎわいあるまちを創造する
- ③ 市民向けに若手アスリートによるスポーツ指導事業を行い、スポーツの普及、アスリート育成、富士宮市のスポーツ振興に寄与する

以上3つの柱を掲げ、富士宮市及び近隣市町のまちづくりに寄与することを目的に活動します。

この目的を達成するためには、地域の行政や関連団体と密に連携していくことが必要であり、社会的にも認められた公的な組織にしていくことが最良であると考えます。また、当団体の活動が営利目的ではなく、また多くの市民の方に地域活性化や空き家問題を自分事としてとらえ、参画してほしいとの点から特定非営利活動法人格を取得するのが最適であると考えました。

法人化することによって、組織を発展、確立することができ、将来的に中心市街地活性化や、空き家問題から地域の環境保全、空き家を解消するための情報網の確立など、地域発展に関わる様々な事業を市内全体にわたって展開することができるようになり、地域社会に広く貢献できると考えます。

### 2 申請に至るまでの経過

令和5年9月 特定非営利活動法人化のための勉強会開催

令和5年10月 発起人会開催

令和6年3月 設立総会開催

令和 6年3月13日

特定非営利活動法人富士山ランドパーク

設立代表者 氏 名 藤田 真孝